ふじの里　広報誌

藤花

Vol.50

2025.1.1

編集 ふじの里広報委員会

発行元　社会福祉法人 光養会

特別養護老人ホームふじの里
（特養）ふじの里なごみの家
（特養）ふじの里ショートステイ
ふじの里デイサービスセンター
ふじの里ケアプランセンター
特別養護老人ホーム藤のれん

URL：www.kouyoukai-fujinosato.jp

〒520-1223 滋賀県高島市安曇川町下小川 3220 番地 1　TEL：0740-32-4165（ヨイローゴ） / FAX：0740-32-3236　E-mail：info@kouyoukai-fujinosato.jp

若宮神社絵馬奉納

迎春

本年も何卒よろしく
お願い申し上げます

社会福祉法人光養会 役職員一同

国狭槌神社絵馬奉納

藤樹神社絵馬奉納

目　次

- 表　紙 ………………………………… 1
- 理事長のあいさつ
  ふれまち地域交流事業 ………… 2
- 事業報告 ……………………………… 3
  ○ふれまち交流バスの運行
  ○ノーリフトケアならびに
  介護ロボット・ICT 導入
- インフォメーション ………… 4

新しい年を変革の年とするために

社会福祉法人光養会　理事長　橋本辰美

新春を迎え、皆様方には益々ご清祥のことと、役員・職員一同心からお慶びを申し上げます。また、本法人施設・事業所の運営に多大なご支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

令和5年は、「特別養護老人ホーム藤のれん」を新たに開設いたしましたが、一年以上を経てようやく安定した運営を実現することができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と厚く感謝を申し上げます。

さて、本法人では、中期事業計画をもとに、地域社会の様々な課題に速やかな対応ができるよう、法人としての基盤づくりに取り組むこととしております。本年はこうした取組の一つとして特別養護老人ホームにおける「介護職員職場環境改善事業」を実施いたします。

本事業は、施設をご利用いただいております皆様の「介護サービスの質の向上」を図るとともに、介護業務の効率化や職員の皆さんの負担軽減等に努め、楽しく・働きやすい職場環境の実現を目指すものです。

具体的には、介護ロボットやICT機器などの整備を積極的に行うことによって、①利用者様の日常生活自立度等による多様なニーズに対応できる適切な介護機器の整備と活用を進め、介護サービスの質的向上を実現します。また、②施設の構造や業務動線および職員間の連携（コミュニケーション）ツールの改善を進め、業務負担の軽減や生産性の向上を実現します。さらに、③見守り機器や行動分析センサー・生体情報センサー等の導入と活用を進め、科学的介護や自立支援介護を実現します。

他にも、本法人では地域社会の諸課題と向き合い、様々な具体的活動を展開することとしており、介護予防の取組や高齢者の皆様の孤立・孤独を防止するための支援活動を進めます。

今後とも、地域の皆様との連携を大切にし、職員一人一人がやりがいと喜びを感じて働き続けられるよう、法人運営の充実に努めていきたいと考えております。皆様方には、本年も一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

昼間火災想定避難訓練
下小川区様にご参加いただきました

ふじの里 ふれまち地域交流事業の開催

昨年11月にふじの里ふれまち地域交流事業を開催しました。当日は悪天候にも関わらず250名を超える地域の皆様にご来場いただきました。ご協力いただきましたボランティアの皆様ありがとうございました。

事業報告

新年おめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、当施設の事業運営にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。この度、昨年より取り組んでいます2つの事業についてご報告させていただきます。

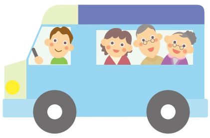
特別養護老人ホームふじの里
特別養護老人ホームふじの里なごみの家
施設長　澤　和記

ふれまち交流バスの運行（地域貢献の取組）

買物困難や交通不便を補う地域社会システムの立ち上げ活動

当事業の活動にあたり安曇川地域住民自治協議会、高島市社会福祉協議会、行政・関係者の皆様にご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この活動開始の経緯ですが、当施設が一員として参画している安曇川地域住民自治協議会で「高齢者の移動困難者の課題」について話し合われたことがきっかけです。地域のために施設でできることは何かを検討し、本会の福祉車両を活用し週1回の買物支援に取り組むことになりました。利用されている方からは大変好評で移動中のバスの中でも会話が絶えず、バスの中が「集いの場」となり、スーパーでは買い物と店内での交流など「社会参加の場」となっています。



今回の取組の一つで町内の方へのアンケートの実施結果では、困りごとなどの相談先がない方、単身世帯や高齢者世帯、地縁がなく家族の協力が得られない方、買い物支援を必要とされている方が沢山おられることがわかりました。

これからの市内における高齢化率の上昇と人口減少に伴う孤独・孤立の予防から地域の皆様の生活が安心して続けられるよう、人と人、人と社会がつながりつづけられるよう、関係の皆様と連携・協働のもと「ふれまち交流バス」を発展させながら継続していきたいと考えています。

※地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査事業として内閣府より助成金を受けNTTデータ経営研究所の伴走支援のもと実施しています。

ノーリフトケア®ならびに介護ロボット・ICT導入（介護職員職場環境改善の取組）

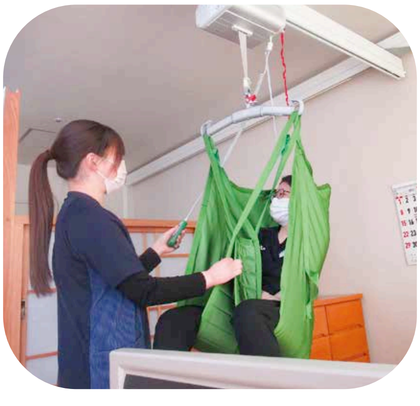
ケアの未来を変える科学的介護と自立支援介護

今年度、当施設は滋賀県の先駆的モデル事業所創出支援事業所に選定いただき、業務改善・効率化による生産性の向上の取り組みを進めています。取り組む目的は、介護サービスの質を向上すること、職場の環境改善から有給休暇の取得促進や賃金改善につなげ介護職員が働きやすく、働きがいがある職場環境をつくることです。

11月にはノーリフトケア®の取組として、ふじの里・なごみの家の一部の居室および浴室に天井走行の介護リフトを整備しました。フレックスボードやスライディングボードの他、福祉用具の選択肢が増えたことで「持ち上げない、抱え上げない、引きずらない介護」により介護職員の介護負担の軽減と利用者の皆様への移乗時の安心感、安定した姿勢の確保につながるものと考えています。

また、介護ロボット・ICT導入については、滋賀県の職場環境改善支援補助金の交付決定を受けて、年度内に全館の Wi-Fi 通信環境、見守りカメラ、行動分析センサー、生体情報センサーなどの整備を行う予定です。

福祉用具や最新の機器を効率的かつ効果的に活用すること、データ分析ができることでより一層、科学的介護による自立支援介護の取組を進めてまいります。



天井走行介護リフト研修

これからも施設サービスの向上はじめ地域の福祉の向上に職員一同努めて参りますのでご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※「ノーリフトケア®」は日本ノーリフト協会の登録商標です。

行事予定　1月～3月

- 1月1日　元旦、新春行事、「藤花」発行
- 6·7日　おもてなし（通所）
- 9日　新年祝賀会
- 2月3日　節分
- 3月3日　ひな祭り
- 22日　職員共済会総会

寄付金報告

令和6年7月16日～令和6年12月15日

下小川区 様
坂東正敏 様
橋本辰美 様

ご寄付ありがとうございました。
（順不同）

滋賀県社会福祉協議会 様より
フリースペースなごみの家に寄付をいただきました。

令和6年度 受賞者

滋賀県社会福祉関係功労者知事表彰
杉本 恭一

全国老人福祉施設協議会20年表彰
講殿 百合子

全国老人福祉施設協議会15年表彰
前田 優太

滋賀県社会福祉協議会会長表彰
北川 真之

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
岡田 由紀
澤 由香里
椿 健太
山元 貴史
小島 真由美
森本 貞子
山森 美保

設備更新

ふじの里・なごみの家介護リフト整備事業

なごみの家屋上防水改修事業

編集後記

新しい紙幣の発行、物価上昇、金メダル、2024年を表す漢字は「金」でしたが、皆さまにとってはいかがでしたでしょうか。

入職1年の私が昨年を振り返り、光養会で感じたことは「繋」です。

御利用者様との日常のつながりに加え、ふれまち交流バスでは地域住民の方々と、施設内で導入したコミュニケーションツールでは職員間でのつながりがより一層深まったように思います。

今年はどんな1年になるでしょうか。どんな1年にしたいでしょうか。今からワクワクしています。皆さまにとってよりよい1年となりますように☆

S.S